

ロシア人捕虜への日本人の待遇

100781083

杉浦晃一

I .ロシア人捕虜の二名

コンスタンチン・ベンケンドルフ伯爵



a) ア:1899年海兵に志願兵として入隊

イ:1902年海軍少尉に昇進

ウ： i) レトビアン号乗船→日本軍の水雷攻撃
ii) ツーリヌィ号乗船→大連港で機雷攻撃
iii) ポベータ号乗船→日本軍に降伏

エ： ベンケンドルフ → 日本軍捕虜

オ： 捕虜生活を手紙に編集→家族に転送

フィリップ・ペトロビッチ・クプチンスキー



b) ア:ロシア軍隊の通信員として入隊

イ:1904年8月→日本人により捕虜

ウ: i) 捕虜生活を日記に記入

ii) 暗い生活→描写

iii) ベンケンドルフと違い→少量保存

Ⅱ. 捕虜二名のマツヤマ生活

a) ベンケンドルフ ↓

捕虜として肉体的な安楽さのある生活

要因 ア: 松山収容所所長河野大佐の存在

i) 河野大佐 → 上品で教養のある紳士

ii) 爽快、快活な所長

様々な所で河野大佐が支援 → ベンケンドルフ

イ：一般の日本家屋に移住

i) 小さな庭→様々な種類の桜

ii) ベランダ→木製の風呂

iii) 身振り手振り→近隣の人と会話

iv) 家賃→驚くほど低賃金

b) クプチンスキー ↓
捕虜として不満感のある生活

要因 ア: 河野大佐への不信感

サーベル事件 → 軽蔑、不信

イ: 待遇の不满

c) ロシア人捕虜の共通の不满

ア: 日本とロシアの慣習と習慣の相違

イ: 捕虜故に日本文化→無理解

ウ: 最低限度の自由

i) 散歩には兵士が同行

ii) 将校への敬礼

エ：捕虜視点→帯刀没収による侮辱

i) ロシア→帯刀は栄誉ある特別待遇

ii) ロシア皇帝→将校クラス→
帯刀許可

iii) 日本軍による没収→些細な侮辱